



PUBLIC (公開)

SAP BusinessObjects Business Intelligence platform

ドキュメントバージョン: 4.2 Support Package 9 – 2021-04-29

SAP BusinessObjects Explorer Installation Guide

目次

1	Introduction.	3
1.1	このドキュメントについて.	3
1.2	関連マニュアル.	3
2	Preparing to Install BusinessObjects Explorer.	5
2.1	アップデート時の Business Intelligence プラットフォームと Explorer のバージョンの調整.	5
2.2	前のバージョンの Explorer からの移行.	5
	Explorer 3.x から Explorer 4.1 への移行.	6
2.3	デプロイメントシナリオの選択.	7
	専用ホストまたは既存の Business Intelligence プラットフォームホストへの Explorer のインストール.	7
	スタンドアロンインストール.	7
	分散デプロイメントのシナリオ.	8
2.4	インストールの前提条件のチェック.	8
3	Installing BusinessObjects Explorer.	11
3.1	インストールパッケージの内容.	11
3.2	お使いのオペレーティングシステムに適切なインストール方法の選択.	12
	Microsoft Windows での SAP BusinessObjects Explorer のインストール.	12
	UNIX への Explorer のインストール.	13
	サイレントインストールの実行.	14
3.3	手動による WAR ファイルのデプロイメント.	14
	JBoss 7.1 を使用した WAR ファイルのデプロイメント.	15
3.4	インストール後の設定.	16
	SAP HANA バージョンの更新時の Explorer の更新.	16
3.5	ONE Installer を使用する.	17
4	Uninstalling BusinessObjects Explorer.	18
4.1	Windows での SAP BusinessObjects Explorer のアンインストール.	18
4.2	UNIX での SAP BusinessObjects Explorer のアンインストール.	18
4.3	CMS で一覧表示されている Explorer サーバの削除.	19

1 Introduction



1.1 このドキュメントについて

このガイドは、SAP BusinessObjects Explorer を次のいずれかの方法でインストールする管理者を対象としています。

- SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.1 の新規完全インストール
- SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのバージョン 4.0 をバージョン 4.1 にアップグレード後の、SAP BusinessObjects Explorer 4.1 のパッチインストール

1.2 関連マニュアル

次の SAP ドキュメントには、SAP BusinessObjects Explorer 4.1 に関する情報が記載されています。


情報	ドキュメント	場所
注意事項と回避策の一覧	SAP BusinessObjects 4.1 リリースノート	http://service.sap.com/releasenotes 
サポートされているプラットフォームおよびサードパーティソフトウェア。	製品出荷マトリックス	SAP サービスマーケットプレイス (http://service.sap.com/pam)  [検索] フィールドに「Explorer 4.1」と入力します。
最新リリースで導入された新機能の一覧	SAP BusinessObjects 4.1 の新機能	SAP ヘルプポータル (http://help.sap.com)
SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.1 のアーキテクチャとテクニカルランドスケープ、および必要なドキュメントや SAP ノートへのリンク	<ul style="list-style-type: none">• <i>Business Intelligence</i> プラットフォームインストールガイド• <i>Business Intelligence</i> プラットフォーム管理者ガイド• <i>Business Intelligence</i> プラットフォーム Web アプリケーションデプロイメントガイド• <i>Business Intelligence</i> プラットフォームアップグレードガイド	
エラーメッセージの説明	SAP BusinessObjects 4.1 エラーメッセージの説明	
Explorer へのインストールタスク	<i>SAP BusinessObjects Explorer</i> インストールガイド	
Explorer サーバ管理タスク	<i>SAP BusinessObjects Explorer</i> 管理者ガイド	

情報	ドキュメント	場所
Explorer アプリケーションインタフェースを使用したデータの作成、管理、閲覧に関するエンドユーザ向けの情報	SAP BusinessObjects Explorer オンラインヘルプ PDF	
	SAP BusinessObjects Explorer オンラインヘルプオンラインヘルプ	アプリケーションにログインして ヘルプ をクリック

2 Preparing to Install BusinessObjects Explorer

2.1 アップデート時の Business Intelligence プラットフォームと Explorer のバージョンの調整

SAP BusinessObjects Explorer をアップデートする場合、Business Intelligence プラットフォーム (BIP) が必要なバージョンにアップデートされていることを確認してから、SAP BusinessObjects Explorer を同じバージョンにアップデートする必要があります。

プラットフォームバージョンをアップデートすることが SAP BusinessObjects Explorer を同じバージョンにアップデートすることの要件になるこの段階的な方法は、パッチを含む SAP BusinessObjects Explorer  アップデートのすべてのインスタンスに適用されます。

たとえば、SAP BusinessObjects Explorer 4.0 SP6 パッチ 3 を実行していて SAP BusinessObjects Explorer 4.0 SP7 パッチ 2 にアップデートする場合は、以下のように行います。

1. BIP を 4.0 SP7 にアップデートします。
2. SAP BusinessObjects Explorer を 4.0 SP7 にアップデートします。
3. 4.0 SP7 パッチ 2 を BIP 4.0 SP7 にインストールします。
4. 4.0 SP7 パッチ 2 を SAP BusinessObjects Explorer 4.0 SP7 にインストールします。

2.2 前のバージョンの Explorer からの移行

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.1 を正しくインストールするには、先に SAP BusinessObjects Explorer 4.1 が必要です。SAP BusinessObjects Explorer 4.1 をインストールする前に、デプロイメントに関する情報について、次のガイドを参照してください。

- *Business Intelligence* プラットフォームインストールガイド
- *Business Intelligence* プラットフォーム管理者ガイド
- *Business Intelligence* プラットフォーム Web アプリケーションデプロイメントガイド
- *Business Intelligence* プラットフォームアップグレードガイド

これらのガイドは SAP ヘルプポータル (<http://help.sap.com>) から入手できます。

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.1 を正しくインストールしたら、次の手順に従って Explorer のデータソースを移行できます。

前のバージョン	操作
SAP BusinessObjects Explorer 4.0	リソース移行操作は特に必要ありません。バージョン 4.0 のすべてのリソースがバージョン 4.1 で使用できます。

前のバージョン	操作
SAP BusinessObjects Explorer XI 3x	自動でアップグレードできません。Explorer 3x バージョンからの移行は、アップグレードマネジメントツールによって一部自動化されていますが、手動で操作する必要がある手順もあります。詳細については、関連項目を参照してください。

関連情報

[Explorer 3.x から Explorer 4.1 への移行 \[6 ページ\]](#)

2.2.1 Explorer 3.x から Explorer 4.1 への移行

SAP BusinessObjects Explorer 4.1 は新しいインストールで、あらかじめ SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.1 がインストールされている必要があります。

Explorer 3.x バージョンからの移行は、アップグレードマネジメントツールによって一部自動化されていますが、手動で操作する必要がある手順もあります。この節では SAP BusinessObjects Explorer XI 3.x から SAP BusinessObjects Explorer 4.1 への移行処理の概要について説明します。

Explorer 3.x から 4.0 への移行手順	説明
SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.1 および SAP BusinessObjects Explorer 4.1 をインストールします。	インストール処理に必要な情報を確認するには、このガイドの「関連ドキュメント」の節を参照してください。
Explorer 3.x から Explorer 4.1 への移行	<p>アップグレードマネジメントツールを使用して、次のものを移行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい CMS に対する Explorer グローバルアプリケーションプロパティ。 新しい CMS に対する Excel ベースの情報スペース (バージョン 3.2 で利用可能)。後で、再インデックス処理します。 <p>SAP ヘルプポータル (http://help.sap.com) で入手できる <i>Business Intelligence</i> プラットフォームアップグレードガイドを参照してください。</p>

関連情報

[Explorer 3.x から Explorer 4.1 への移行 \[6 ページ\]](#)

2.3 デプロイメントシナリオの選択

SAP BusinessObjects Explorer 用に選択するデプロイメントアーキテクチャは、デプロイメントの規模、ユーザーがソフトウェアを使用するときに最もよく実行する操作の種類、およびビジネスインテリジェンスインフラストラクチャのパフォーマンスと信頼性の要件によって異なります。Explorer サーバは、1 つまたは複数のサービスインスタンスがインストールされている 1 台または複数台のマシンにインストールすることができます。

関連情報

[専用ホストまたは既存の Business Intelligence プラットフォームホストへの Explorer のインストール \[7 ページ\]](#)

[スタンドアロンインストール \[7 ページ\]](#)

[分散デプロイメントのシナリオ \[8 ページ\]](#)

2.3.1 専用ホストまたは既存の **Business Intelligence** プラットフォームホストへの **Explorer** のインストール

SAP BusinessObjects Explorer は以下のいずれかの方法でインストールできます。

- SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームと同じサーバへのインストール。
- 専用マシンへのインストール。この方法はパフォーマンスの向上につながります。

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームをインストールしていないマシンに Explorer サーバをデプロイすると、Explorer はネットワーク上の別のマシンにある別の BusinessObjects Central Manager Server (CMS) に接続します。この接続は、CMC からいつでも変更できます。

2.3.2 スタンドアロンインストール

テスト用、または小規模なデプロイメントの場合、すべての Explorer コンポーネントを単一のホストにインストールすることをお勧めします。SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームがすでにインストールされている場合、Explorer システムを同じホストにインストールするか、または専用ホストにインストールするかを選択できます。

関連情報

[専用ホストまたは既存の Business Intelligence プラットフォームホストへの Explorer のインストール \[7 ページ\]](#)

2.3.3 分散デプロイメントのシナリオ

大規模で重要なデプロイメントの場合、分散デプロイメントのシナリオを実装することをお勧めします。

フェールオーバー

フェールオーバーが重要な要件である場合、複数の Explorer Master Server をデプロイして、他の Explorer サーバを管理できます。複数の Master Server が連携して、重要なデータの整合性を維持します。

負荷分散

SAP BusinessObjects Explorer は、Web アプリケーションサーバのクラスタ化をサポートします。ハードウェアまたはソフトウェアのロードバランサを Web アプリケーションサーバのエントリポイントとして使用すると、複数のサーバに処理が均等に分散されます。

① 注記

現在、以下の永続性の種類がサポートされています。

- ソース IP アドレスの永続性

① 注記

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームの負荷分散については、次の URL で入手できる SAP 製品出荷マトリックス (PAM) を参照してください。 <http://service.sap.com/pam> PAM のホームページの検索フィールドに「Explorer 4.1」と入力します。

2.4 インストールの前提条件のチェック

SAP BusinessObjects Explorer 4.1 のインストール要件は次のとおりです。

- SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.1 がインストールされ、動作している必要がある。必要なインストール要件については、 <http://help.sap.com> で入手できる *Business Intelligence* プラットフォームインストールガイドを参照してください。
- Adobe Flash Player 10.1 以降が必要です。

サポートされている環境およびハードウェア要件の詳細な一覧については、SAP Service Marketplace (<http://service.sap.com/pam>) で入手できる製品出荷マトリックスを参照してください。

SAP BusinessObjects Explorer 3.x の既存のインストールがある場合は、SAP BusinessObjects Explorer 4.1 をインストールする前に既存のバージョンをアンインストールする必要があります。また、新しいバージョンをインストールする前に、いくつかのファイルを手動で削除する必要があります。削除する必要があるファイルの詳細については、「関連トピック」に記載されている、Windows または UNIX での *SAP BusinessObjects Explorer* のア

ンインストールの節を参照してください。アンインストール手順を開始する前に、SAP BusinessObjects Explorer WAR ファイルのバックアップを取ることを強くお勧めします。

① 注記

WAR ファイルをデプロイするときは、次のアクションを適用します。

WAR ファイルの問題	条件
Tomcat を Web アプリケーションサーバとして使用する 場合、SAP BusinessObjects Explorer 4.1 の WAR ファイルが自動的にデプロイされます。	必要に応じて、インストール後に Tomcat の WAR ファイルを手動でデプロイすることもできます。手動による WAR ファイルのデプロイについては、「関連トピック」の節を参照してください。
他のすべての Web アプリケーションサーバの場合は、 wdeploy ツールを使用して WAR ファイルを手動で プロイする必要があります。	
wdeploy を使用して SAP BusinessObjects Explorer 4.1 の WAR ファイルを JBoss 5x アプリケーションサー バにデプロイする場合は、各 WAR ファイルを WAR ファ イルと同じ名前のフォルダにそれぞれデプロイする必要 があります。	explorer.war ファイルは、パス <JBOSS_HOME>/ server/default/deploy の <explorer.war > という 名前のフォルダに解凍する必要があります。

1. SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.1 が、<http://service.sap.com/instguides> で入手できる *Business Intelligence* プラットフォームインストールガイドで説明されているとおりにインストールされ、正しく設定されていることを確認します。インストール先に指定したマシンへの管理者アクセス権が必要です。

正しい設定とは、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.1 がインストールされているマシンが動作中で、ネットワーク上でアクセス可能であり、以下のサーバが存在していることを意味します。

- a. Central Management Server (CMS)
 - b. Connection Server
 - c. Output File Repository Server
 - d. Input File Repository Server
 - e. Web アプリケーション サーバー
2. SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.1 インストールの CMS ログオン認証情報のメモを作成します。この情報は、SAP BusinessObjects Explorer をインストールするときに必要になります。CMS ログオン認証情報は次のとおりです。
 - SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.1 がインストールされているマシンが動作中であり、ネットワーク上でアクセス可能である。
 - Explorer サーバをホストするマシンに、BusinessObjects Enterprise SIA がインストールされている。
 - SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.1 のインストールの CMS 認証情報。これには、以下のものがあります。
 - a. CMS 名
 - b. ポート番号
 - c. ユーザ名
 - d. パスワード
 - e. 認証方法（Microsoft Windows にインストールする場合）

関連情報

[関連マニュアル \[3 ページ\]](#)

[Windows での SAP BusinessObjects Explorer のアンインストール \[18 ページ\]](#)

[手動による WAR ファイルのデプロイメント \[14 ページ\]](#)

3 Installing BusinessObjects Explorer

3.1 インストールパッケージの内容

SAP BusinessObjects Explorer のセットアップには、次のパッケージが含まれます。

Explorer サーバ

この機能には、次のコンポーネントが含まれます。

- バックエンドサーバ
 - Master
 - Indexing
 - Search
 - Exploration
- サードパーティコンポーネント

① 注記

サーバは、別々のホストマシンにインストールできます。たとえば、インデックス化、閲覧、および検索用に専用マシンを使用できます。

Web アプリケーション

この機能には、必要な Web ポータルデプロイメントコンポーネントが含まれています。

検索の統合

Explorer 検索機能を SAP BusinessObjects BI 起動パッド と統合するために必要なコンポーネントです。

関連情報

[お使いのオペレーティングシステムに適切なインストール方法の選択 \[12 ページ\]](#)

3.2 お使いのオペレーティングシステムに適切なインストール方法の選択

実行するインストール手順は、お使いの Explorer サーバホストマシンのオペレーティングシステムによって異なります。

関連情報

[Microsoft Windows での SAP BusinessObjects Explorer のインストール \[12 ページ\]](#)

[UNIX への Explorer のインストール \[13 ページ\]](#)

3.2.1 Microsoft Windows での SAP BusinessObjects Explorer のインストール

1. setup.exe をダブルクリックします。
2. セットアップ言語を選択します。これはインストールウィザード用の言語です。
3. インストーラによりインストール要件の不備が検出されると、不足しているコンポーネントの一覧がダイアログボックスに表示されます。一覧の各項目をクリックすると、要件を満たすための対処法の説明が示されます。インストールを続行するには、要件の問題点を解決する必要があります。
4. [\[BusinessObjects Explorer のセットアップ\]](#) ダイアログボックスで、[\[次へ\]](#) をクリックします。
5. 使用許諾契約を読み、これに同意してから、[\[次へ\]](#) をクリックしてインストールを開始します。
検出されたディレクトリは SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームインストールディレクトリに基づきます。別のディレクトリに Explorer をインストールできません。
6. 言語パックを 1 つ以上選択します。選択した言語は、ユーザの基本設定で優先言語として選択できます。
7. インストールするコンポーネントを選択し、[\[次へ\]](#) をクリックします。
8. CMS ログオン認証情報を入力します。
 - CMS 名
 - ポート番号
 - ユーザ名
 - パスワード
 - 認証
9. [\[次へ\]](#) をクリックします。
10. SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのインストール中に [\[インストール後に、Web アプリケーションを手動でサポートされている Java Web アプリケーションサーバにデプロイします\]](#) オプションを選択した場合は、[\[Explorer Web アプリケーションデプロイメント\]](#) ダイアログボックスが表示されます。
 - a. インストール後に wDeploy を起動する場合はチェックボックスをオンにし、起動しない場合はオフにします。

- b. [\[次へ\]](#) をクリックします。
11. [\[インストールの開始\]](#) ダイアログボックスで、[\[次へ\]](#) をクリックしてインストールを開始し、インストールが完了したら [\[完了\]](#) をクリックします。

関連情報

[関連マニュアル \[3 ページ\]](#)

3.2.2 UNIX への Explorer のインストール

1. `setup.sh` を起動します。
SAP BusinessObjects Explorer セットアップ画面が表示されます。
2. インストール用の言語を指定します。
3. インストール先フォルダを指定します。これは、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.1 を含むインストールフォルダと同じにする必要があります。
要件の確認画面が表示されます。インストーラによりインストールの重要要件およびオプション要件の不備が検出されると、不足しているコンポーネントの一覧が表示されます。
4. 必要に応じて重要要件の問題点を解決してから、インストールを再開してください。
以下の画面が表示されます。
 - SAP BusinessObjects Explorer インストールウィザードへようこそ
 - 使用許諾契約
5. 使用許諾契約を読んだ後、以下のように選択を確認します。
 - 条件に同意する場合は Y キー、中止する場合は N キー を押します。
 - 戻る場合は Ctrl+N、中止する場合は Ctrl+X を押します。
6. インストールする言語パックを選択します。方向キーを使用して、メニュー項目を選択します。
 - X キーを押して選択または選択解除します。
 - 戻る場合は Ctrl+B を押します。
 - Enter キーを押して続行します。
 - 中止する場合は Ctrl+X を押します。
7. 次の中から、指定したディレクトリにインストールする機能を選択します。
 - Explorer サーバー (Master、Indexing、Search、および Exploration)
 - Web アプリケーションコンポーネント (Web ポータルデプロイメントコンポーネントを含む)
 - BI 起動パッドとの検索の統合
8. [\[Enter\]](#) キーを押します。
9. [\[既存の CMS の情報を入力します\]](#) 画面で、次の情報を入力します。
 - CMS 名
 - ポート番号
 - ユーザ名
 - パスワード

10. `[Enter]` キーを押します。
11. 既存のローカル SIA のノード名とポートを入力するか、新しく作成します。
インストールが開始されます。

関連情報

[関連マニュアル \[3 ページ\]](#)

3.2.3 サイレントインストールの実行

インストールウィザードのすべてのオプションを、コマンドラインから指定することができます。これを、サイレントインストールといいます。インストールオプションは、コマンドラインでパラメータとして直接指定するか、応答ファイルに保存しておくことができます。

サイレントインストールの手順に関する詳細な説明については、SAP ヘルプポータル (<http://help.sap.com>) で入手できる *Business Intelligence* プラットフォームインストールガイドの「サイレントインストール」の節を参照してください。

関連情報

[関連マニュアル \[3 ページ\]](#)

3.3 手動による WAR ファイルのデプロイメント

インストール時に Explorer WAR ファイルが自動でデプロイされなかった場合は、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームインストールに付属の `wdeploy` アプリケーションを使用して、これらのファイルを手動でデプロイできます。

デプロイメントは、Web アプリケーションサーバおよびオペレーティングシステムに依存します。`wdeploy` を使用した WAR ファイルのデプロイの詳細については、<http://help.sap.com> で入手できる *SAP BusinessObjects Business Intelligence* プラットフォーム Web アプリケーションデプロイメントガイドを参照してください。

次の WAR ファイルと参照プロパティファイルを SAP BusinessObjects Explorer 4.1 で使用できます。

WAR ファイル	プロパティファイル
explorer	explorer.properties
explorer_help	explorer_help.properties

関連情報

[JBoss 7.1 を使用した WAR ファイルのデプロイメント \[15 ページ\]](#)

3.3.1 JBoss 7.1 を使用した WAR ファイルのデプロイメント

Web アプリケーションサーバ JBoss 7.1 を使用した WAR ファイルのデプロイメントには、次のような手動のデプロイメントが必要です。

① 注記

JBoss 7.1 を使用する場合を含む、WAR ファイルのデプロイメントに関する詳細については、SAP ヘルプポータル (<http://help.sap.com>) で入手できる SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.1 向けの『Web アプリケーションデプロイメントガイド』を参照してください。

1. `<jboss 7 root>%modules%com` の下に、ディレクトリ `rsa%main` を作成します。
2. 次の場所からすべてのファイルをコピーします。

```
<BOE root>%SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0%wdeploy%rsa_module%
```

目的

```
<jboss 7 root>%modules%com%rsa%main
```

3. JBoss を再起動します。
4. コマンドラインシェルを開きます。
5. `wdeploy` フォルダ (`<BOE root>%SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0%wdeploy%`) に移動します。
6. 次のように入力します。 `wdeploy.bat jboss7 predeployall`
7. 次の場所からすべての WAR ファイルをコピーします。

```
<BOE root>%SAP BusinessObjects Enterprise XI  
4.0%wdeploy%workdir%jboss7%application
```

目的

```
c:%sau
```

これで、JBoss でのデプロイメント用のパスが単純になります。

8. `<jboss 7 root>%bin` に移動します。
9. `jboss-cli.bat` を起動します。
10. `connect` と入力します。
11. `explorer.war` について、次のコマンドを入力します。/
`deployment=explorer.war:add(enabled="true",runtime-name="explorer.war",
content=[{"path"=>"C:/sau/explorer.war","archive"=>false}])`
12. `explorer_help.war` ファイルについて、1 つ前の手順を繰り返します (`explorer.war` は `explorer_help.war` に置き換えます)。

3.4 インストール後の設定

SAP BusinessObjects Explorer のインストールが完了したら、次の項目を設定する必要があります。

- インデックスを格納するインデックスディレクトリ
- セッションタイムアウト
- 各 Explorer サーバの Java 仮想マシン (JVM) ヒープサイズ
- 前のリリースからバージョン 4.2 SP5 へのアップグレードの場合は、メモリをマニュアルで設定するときに、Explorer サーバのコマンド行パラメータから以下のオプションを削除します。
 - `-XX:MaxPermSize`
 - `-XX:MaxMetaspaceSize`
- Tomcat を Web アプリケーションサーバとして使用しない場合の、すべての Web アプリケーションの再デプロイ (すべての SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム Web アプリケーションの再デプロイを含む)

Explorer サーバの設定については、*SAP BusinessObjects Explorer 管理者ガイド*および *Business Intelligence プラットフォーム管理者ガイド*を参照してください。

関連情報

[関連マニュアル \[3 ページ\]](#)

3.4.1 SAP HANA バージョンの更新時の Explorer の更新

新しいバージョンの SAP HANA をインストールまたは更新すると、Explorer も SAP HANA JDBC ドライバの該当するバージョンと一緒に更新されます。

Explorer を含むすべてのノードで以下の手順を実行します。

1. すべての Explorer サーバを停止します。
 - Exploration
 - インデックス化
 - マスタ
 - 検索
2. 次のディレクトリから古いドライバを削除します。

```
$InstallFolder¥SAP
BusinessObjects¥Explorer14.0¥plugins¥com.sap.ngdbc_1.0.0¥lib¥ngdbc.jar
```

① 注記

ファイルは削除されるか、またはインストールフォルダに存在しない別のディレクトリに移動されます。

3. 次のディレクトリ `__installer.HDB¥client¥JDBC.TGZ¥JDBC.tar¥ngdbc.jar` から新しい `ngdbc.jar` ドライバを古いドライバの場所にコピーします。

4. Explorer サーバを再起動します。

3.5 ONE Installer を使用する

ONE Installer は、サービスパッケージまたはパッチのフレッシュインストール、パッチからパッチへの更新、サービスパッケージからパッチへの更新などの複数の BI インストールシナリオをサポートする単一のインストールパッケージです。

SAP BusinessObjects BI プラットフォームを使用していない場合は、BI リリースの最新の利用可能なサポートパッケージまたはパッチバージョンのフレッシュインストールに ONE Installer パッケージを使用できます。

フレッシュインストールシナリオと更新インストールシナリオの既存の個別のパッケージタイプとは別に、これは、フレッシュインストールシナリオと更新インストールシナリオの両方に対応する、4.2 SP06 で導入された新しいパッケージタイプです。このパッケージは、既存のパッケージとともに同梱されています。

ONE Installer の詳細については、*Business Intelligence Platform* インストールガイド (UNIX 版) と *Business Intelligence Platform* インストールガイド (Windows 版) を参照してください。

4 Uninstalling BusinessObjects Explorer

4.1 Windows での SAP BusinessObjects Explorer のアンインストール

アンインストール手順を開始する前に、SAP BusinessObjects Explorer WAR ファイルのバックアップを取ってください。

1. サーバマシンで、Windows インストールの [\[コントロールパネル\]](#) に移動します。
2. [\[プログラムの追加と削除\]](#) を開きます。
3. [\[SAP BusinessObjects Explorer\]](#) を特定します。
4. [\[削除\]](#) をクリックします。
5. [\[確認\]](#) ボックスで [\[はい\]](#) をクリックして、SAP BusinessObjects Explorer をアンインストールします。

システムから SAP BusinessObjects Explorer が削除されます。

4.2 UNIX での SAP BusinessObjects Explorer のアンインストール

この手順では、IBM AIX プラットフォームから SAP BusinessObjects Explorer をアンインストールする方法について説明します。

1. サーバをアンインストールするには、wdeploy ディレクトリから次のコマンドを実行します。

```
[InstallDir]/sap_bobj/enterprise_xi40/wdeploy/wdeploy.sh
```

- `wdeploy.sh tomcat7 -DAPP=explorer undeploy`

① 注記

Tomcat のほかのバージョンを使用している場合は、"7" をそのバージョン番号に置き換えてください。

- `modifyOrRemoveProducts.sh`

2. SAP BusinessObjects Explorer 4.1 を削除します。
3. [\[既存の CMS の情報を入力します\]](#) 画面で、SAP BusinessObjects Explorer 4.1 を削除することを確認します。
4. 選択内容を確認します。
システムから SAP BusinessObjects Explorer が削除されます。

① 注記

SAP BusinessObjects Explorer をアンインストールしても、Explorer サーバは CMC 内で表示されたままになります。別のバージョンをインストールしたり、同じ Explorer を再インストールする場合は、これらのサーバを一覧から削除する必要があります。この情報の「関連トピック」を参照してください。

関連情報

[CMS で一覧表示されている Explorer サーバの削除 \[19 ページ\]](#)

4.3 CMS で一覧表示されている Explorer サーバの削除

SAP BusinessObjects Explorer をアンインストールしても、Explorer サーバは CMC 内で表示されたままになる場合があります。Windows システムの場合は、Explorer の新しいバージョンをインストールする前にこれらのサーバを削除する必要はありません。

Linux では、アンインストール後も Explorer サービスが継続され、新しい Explorer をにインストールしても新しい Explorer サービスが開始されません。CMC 一覧内の Explorer サーバを削除する必要があります。

Linux インストールの場合は、以下のようにして、CMC 内に表示される Explorer サーバを削除できます。

1. wdeploy ディレクトリから次のコマンドを実行します。`[InstallDir]/sap_bobj/enterprise_xi40/wdeploy/wdeploy.sh`
`wdeploy.sh tomcat7 -DAPP=explorer undeploy`

① 注記



Tomcat のほかのバージョンを使用している場合は、"7" をそのバージョン番号に置き換えてください。

2. SAP BusinessObjects Explorer をアンインストールするには、`modifyOrRemoveProducts.sh` を実行します。
3. フォルダ `Explorer14.1` を削除します。
4. CMC に残っているすべての Explorer サーバを削除します。
5. 必要に応じて、SAP BusinessObjects Explorer を再インストールします。

重要免責事項および法的情報

ハイパーリンク

リンクの一部は、アイコンやマウスオーバーテキストで分類されています。これらのリンクから、追加の情報を得ることができます。アイコンについて。

-  このアイコンが付いたリンク: SAP がホストしているものではない Web サイトに移動します。これらのリンクを使用することで、お客様は (お客様と SAP との契約書に別段の明示的な記載がない限り) 以下のことに同意することになります。
 - リンク先のサイトのコンテンツが SAP のドキュメンテーションではないこと。お客様は、この情報に基づいて SAP に対する製品クレームを推断することはできません。
 - SAP が、リンク先のサイトのコンテンツについて同意することも反対することもなく、また SAP がその利用可能性や正確性について保証しないこと。SAP は、かかるコンテンツの使用により発生した損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、その損害に対して一切責任を負いません。
-  このアイコンが付いたリンク: 当該の特定の SAP 製品又はサービスのドキュメンテーションから離れ、SAP がホストしている Web サイトに移動します。これらのリンクを使用することで、お客様は (お客様と SAP との契約書に別段の明示的な記載がない限り)、この情報に基づいて SAP に対する製品クレームを推断することはできないことに同意します。

外部プラットフォームでホストされているビデオ

一部のビデオは、サードパーティのビデオホスティングプラットフォームに置かれている場合があります。SAP では、これらのプラットフォームに保存されているビデオが将来にわたって利用できると保証することはできません。また、これらのプラットフォームにホストされている、いかなる広告またはその他のコンテンツ (関連ビデオまたは同じサイトでホストされている別のビデオに移動する場合など) については、SAP の管理外であり責任を負いません。

ベータおよびその他の試験的機能

試験的機能は、SAP が将来のリリースを保証する正式に提供される機能の範囲外です。これは、試験的機能は、SAP により通知なく理由の如何を問わず随時変更される場合があることを意味します。試験的機能は、本稼働使用のためのものではありません。お客様は、試験的機能を実際の運用環境で、又は十分なバックアップがとられていないデータとともに、デモンストレーション、テスト、試験、評価その他の方法で使用してはなりません。

試験的機能の目的は、早期にフィードバックを得ることで、それに応じて顧客の皆様やパートナーが将来の製品に影響を与えることを可能にすることです。SAP コミュニティなどにおいてフィードバックを提供することで、お客様は、投稿物や二次的著作物の知的財産権が SAP の独占的所有物であり続けることを承認することになります。

コード例

ソフトウェアのコーディングやコードスニペットはすべて、例です。それらは、本稼働使用のためのものではありません。コード例は、構文や表現規則を分かりやすく説明し視覚化することのみを目的としています。SAP は、コード例の正確性や完全性について保証しません。SAP は、コード例の使用により発生した過誤や損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、損害に対して一切責任を負いません。

偏見のない表現

SAP は、ダイバーシティ & インクルージョンの文化を支持しています。SAP の文書では、可能な限り、文化、民族性、ジェンダー、および障がいの有無を問わず、すべての人々に対する偏見を伴わない表現を採用します。

© 2024 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。

SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱漏等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE（又は SAP の関連会社）の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他のすべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する詳細の情報や通知については、<https://www.sap.com/japan/about/legal/trademark.html> をご覧ください。